

インスタントラーメンの秘密を ガイドブックで楽しく学ぼう

「カップヌードルミュージアム 大阪池田」は世代を選ばず楽しめる体験型食育ミュージアムだ。インスタントラーメンの歴史の紹介や、オリジナル「カップヌードル」が作れる「マイカップヌードルファクトリー」などの展示やアトラクションが人気となっている。

ここで自由研究の強い味方となるのが、小学生限定で無料配布しているガイドブック。発明秘話や作り方など22の質問に答えていくと、クイズ感覚で理解が深まる内容となっている。ヒントは必ず館内のどこかに隠されているので、すみずみまで探検しよう。また7月26日(木)、8月2日(木)・9日(木)の3日間は夏休みの特別企画として、広報スタッフが館内を案内する「インスタントラーメン探検ツアー」と「ひよこちゃん撮影会」を開催予定。くわしくはHPに掲載されている。

「当施設は、未来を担う子どもたちに発明や発見の大切さを伝えたいという思いで設立されました」と話すのは広報スタッフの村上さん。「日清食品」の創業者・

安藤百福氏は池田市に暮らし、48歳の時に自宅の小さな研究小屋で世界初のインスタントラーメンである「チキンラーメン」を発明した。「館内に再現した研究小屋で、特別な設備がなくても知恵と情熱があれば誰にでも発明や発見ができることを知ってほしい」と村上さん。

今年にはインスタントラーメン発明60周年となる記念の年。身近な食べ物に詰まったひらめきや工夫に触れてみよう。



日清食品ホールディングス株式会社 広報部 村上瑛子さん
カップヌードルミュージアム 大阪池田
池田市満寿美町8-25 TEL:072-752-3484
入館料:無料(体験は有料)
http://www.cupnoodles-museum.jp

自由研究、なにしよう?

巻頭特集
身近なところからヒントあり!



夏休みまであと1カ月。楽しい予定もあるけれど、自由研究のテーマに今から悩んでいる小学生、そして昔を思い出して心配なお父さんやお母さんも多いのでは。今回はそんな子どもたちのための夏休み先取り企画。発想のヒントになる地域のスポットやイベントをご紹介します。ワクワクできる自分だけのテーマを見つけよう。

想像通りに動かないかな? 小学生でも簡単プログラミング

最近人気の研究テーマ、プログラミング。「専門知識がないと難しいのでは」というイメージがあるが、夏休みに入門編から始めてみてはいかがだろうか。

5歳から社会人まで幅広く教えるプログラミングスクール「NPO法人ロジカ・アカデミー」では8月2日(木)・3日(金)、小学生を対象に「夏休み宿題は『動く絵本』で決まり!」(論理的自己表現活動絵本)を開催。タブレット端末やパソコンを操作して、子ども向けプログラミングソフトに挑戦しよう。紙に絵を描いてデータを取り込み、講師のアドバイスに沿ってプログラムを組み立てると、キャラクターが走ったり、話したりと画面上で動き始める。「うごく」、「くりかえす」、「〇秒まつ」...といったシンプルな日本語を組み合わせてプログラミングするので、初心者にもわかりやすい。

「どんなプログラムを書けばよいか緻密に計算しながら、自分で考えた物語を表現して、プログラミングのクリエイティブな楽しさを知ってほしい」と代表の関さ



NPO法人 ロジカ・アカデミー
池田市室町4-49 TEL:072-752-8607
日時:8月2日(木)・3日(金) 各回10:00~17:00(昼休憩1時間)
費用:500円 ※当日の持ち物は下記ホームページ参照
申込:ホームページ(http://www.logica.academy)
または「こくちずプロ」(http://www.kokuchipro.com/group/logica/)で申込 ※先着順

ん。事務局長の小林さんは「粘り強く取り組んで、思い通りに動いた時の達成感は素晴らしい」と話す。プログラミングの技術は、Webサービスやゲームソフト、スマートフォンアプリなど、身の回りのあちこちで楽しく便利な生活を支えている。実際にプログラムを作りながら、その仕組みを学んでみよう。



同アカデミーの講師がやさしく教えるので、プログラミング未経験でもOK。自分の世界をふくらませて物語を作ろう

お店の裏側をのぞいてみよう 「夏合宿 in 商店街」

「石橋商店街」では「石橋こどもプロジェクト2018」と銘打ち、商店街と子どもたちの距離がぐっと縮まるイベントを開催中。その第3弾として、1泊2日の「夏合宿 in 商店街」が8月4日(土)・5日(日)に予定されている。対象学年は小学4~6年生。「商店会のメンバー」でアイデアを出し合い、実現した企画。私たちも楽しみにしています」と話すのは、「タローパン」の店主、堤洋一さんだ。イベント中は大学と地域をつなぐ学生団体「石橋×阪大」の学生が全面サポート。宿題でわからないところがあればアドバイスも受けられる。

初日は「平和温泉」で風呂掃除体験のあと、商店街で買い出しをして「石橋商店街サービスセンター」で夕飯のカレー作り。「大阪大学」内で肝試しをし、夜は「池田市立石橋南小学校」多目的教室に宿泊する。翌日は「タローパン」でパンを手作りしたり、「松家本舗」で和菓子作りを体験したりと、社会見学要素も含まれた内容となっている。商店街の人

たちと話せる珍しい機会なので、商品の作り方やお店の仕組みなど、自分なりの研究テーマを見つけてインタビューしてみよう。

当日イベントは5月31日までに応募締め切ったが、好評につき5名を追加募集。なお、年下のきょうだいと一緒に応募することも可能だ。



「タローパン」店主 堤洋一さん
いしばし商業活性化協議会
TEL:072-761-1576
日時:8月4日(土) 12:30~翌12:00(1泊2日)
参加費:1,000円(入浴料、夕食代他)
申込:7月4日(水)までに下記項目を記入のうえメールにて申込
①参加者の氏名・年齢 ②保護者の氏名・連絡先
③アレルギーの有無 ④その他、伝えておきたいこと
ishibashi.ohako@gmail.com ※応募者多数の場合は抽選

省エネを学んで楽しくものづくり 「LEDランシェード工作教室」

工作好きにおすすめなのが「池田市立図書館」で8月5日(日)、小学1~3年生の親子を対象に開催される「LEDランシェード工作教室」だ。「LEDランシェード(家ライト)」は、カラフルなクラフトバンドとLEDで作るかわいらしい家庭の照明。親子で一緒に工作しながら、LEDの基礎知識を楽しく学ぼう。

発光ダイオードとも呼ばれるLEDは、近年主流となっている地球にやさしい明かり。イベントでは昔から使われている白熱電球や蛍光灯と比べながら、LEDが省エネになる理由や明かりの歴史を解説する。環境に意識を向けるよい機会になりそう。

イベントを提供している「パナソニック株式会社エレクトロニクス」の川北さんは、「実際に見たり触れたりできる教材を用意しているので、子どもたちに好奇心を大事にもらおうきっかけになれば嬉しいですよ」と話す。また川北さんとともに講師を務める佐藤さんは「工作で手を動かす楽しさを知り、作り上げる達成感を味わってほしい」とコメント。このイベントは「池田市図書館協議会」のメンバーでもある佐藤さんの呼びかけで始まったもので、昨年開催したイベントでは「自由研究にしやすい」と子どもたちから好評だったそう。先着10組の募集となっているため、参加希望の場合は7月7日(土)以降に図書館で直接申込を。



パナソニック株式会社 エレクトロニクス社 本社直轄 CS部 佐藤秀輝さん
パナソニック株式会社 エレクトロニクス社 本社直轄 CS部 川北玉紀さん
池田市立図書館 本館(開催場所)
池田市五月丘1-10-12 TEL:072-751-2508
日時:8月5日(日) 14:00~16:00
申込:7月7日(土) 10:00から材料費(1組800円)を持って本館事務室へ直接申込



昨年も全国200カ所以上で開催された人気イベント。好きな色を組み合わせて、世界にひとつの明かりを作ろう